

研究・調査報告書

報告書番号	担当
103	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
Alcohol and cardio-respiratory deaths in Chinese: a population-based case-control study of 32,462 older Hong Kong adults. 中国におけるアルコールと心呼吸器系の死亡：香港における 32,462 名の成人の症例対象研究について	
執筆者	
Schooling CM, Lam TH, Ho SY, He Y, Mak KH, Leung GM.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
BMC Public Health. 2009 Feb 5;9:49.	
キーワード	
中国、飲酒、虚血性心疾患 (IHD)、慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	
要旨	
<p>背景： 観察研究では中等度の飲酒については心呼吸器系の死亡率を下げると言われている。しかし、観察研究においては中等度の飲酒者とその他のグループや、病気や加齢による飲酒の変化による残渣交絡などの多くの未測定の違いによる偏りが生じるのではないかと考えられる。我々は、研究の対象となった人口（中国南部）において、虚血性心疾患 (IHD) と慢性閉塞性肺疾患 (COPD) による中等度の飲酒が及ぼす死亡への影響について特異的な影響を調べるために、2つの違った分析を実施した。</p> <p>方法： 症例対象研究の成人死の疫学集団は 1998 年の中国香港の 60 歳以上で IHD 2,270 名、COPD 1,441 名の故人と、10,320 人の生存者と 9,043 名の故人（飲酒とは無関係の死）をコントロール群としロジスティック回帰分析を行った。また、性別や喫煙歴の変化による IHD と COPD の死亡と飲酒の関連についても調べた。</p> <p>結果： 年齢を調整した生存者のコントロール群では、社会経済状況、ライフスタイル、時々の飲酒と中等度の飲酒は IHD と COPD による死亡率を下げる事に関連があった。しかし、故人のコントロール群では時々の飲酒と中等度の飲酒は元喫煙者（現在は禁煙）に限って IHD と（現在は禁煙している非喫煙者と比較してオッズ比 (OR) 0.58、95%信頼区間 (CI) 0.46~0.73、しかし喫煙経験のない非喫煙者に関しては 1.07、95%信頼区間 0.76~1.50) おそらく COPD の男性で保護的作用があった。多量の飲酒は IHD の死亡率を下げる事とおそらく COPD の死亡率を下げる事に関連付けられていた。</p> <p>まとめ： 高いレベルでの飲酒者は中国人においては IHD の死亡率を下げる事が分かった。また中等度の飲酒は IHD の死亡率に対して一貫して保護的作用がある事が分かった。中国人のいくつかあるアルコールに対する性質かアルコールの遺伝子選択の影響で、アルコールが特に男性において COPD の死亡率の減少と関連している事が分かった。経済発展の中国では飲酒が増加し、他のデザインと分析戦略がこの集団のアルコールの影響を評価するため、エビデンスに基づいた公衆衛生政策を策定することが必要である。</p>	